

人権学習授業をとおして

研修を深める

— 幼小中高連第2回人権教育部会(研修会) —

八木中学校 第1学年人権学習

「私たちの知らない8月15日—満州からの引き揚げ—」

講師：黒田 雅夫 さん(外部講師) 及び 黒田 毅 教諭



管内幼小中学校・府立学校の教員約30名が参観しました。



映像や具体物等を提示して、より分かりやすく、学習が展開されていました。



自らの体験を語る黒田さん。言葉一つ一つが心に響きました。

十一月五日(木)南丹市立八木中学校において、幼小中高連第2回人権教育部会(研修会)が開催されました。この研修会は、人権学習の実践から学び、管内各園・校の人権学習授業や取組の質をより高めていくことを目的として、昨年度から、人権教育部員だけでなく、管内教員へ広く参加を呼びかけています。

今年度は約三十名の参加者があり、授業参観及び交流協議を行い、研修を深めました。

人権学習のゲストティーチャーは、子どもの頃、満州からの引き揚げを体験された黒田 雅夫さん。毎年、人権旬間の取組の中で授業をされ、今年で5回目になります。

授業は、黒田さんが体験を中心に話をされ、それを黒田教諭が解説するという形式。黒田さんは、一年生の生徒に、当時の生活の様子や肉親との悲しい別れ、帰国してからの奇跡的な出会いなどを話され、命の大切さや人との出会いの大切さなどについて語られました。

授業の最後には、生徒代表から黒田さんにお礼の言葉が述べられ、一年生全員で、合唱「翼をください」が送られました。その歌声には、黒田さんへの心からの感謝と、思いを引き継ぐ生徒の強い決意が感じられ、会場は感動に包まれました。



生徒代表からのお礼の言葉に続き、合唱「翼をください」が披露され、美しい歌声とともに感謝の気持ちが伝えられました。



当日は民放番組の取材もありました。

【交流協議】

テーマ「公開授業及び人権教育の取組説明から 自校・園に活かせること」

- ・説明「本校の人権教育の取組について」
発表者 南丹市立八木中学校 黒田 毅 教諭
- ・グループ協議



坂本人権教育部会長の開会挨拶



藤田八木中学校長の会場挨拶



黒田教諭からの取組説明



八木中の取組の1つ「人権の花」



参加した管内幼稚園・小学校・中学校・府立学校の教員が、地域や校種を越えて交流し、これからの人権教育の在り方等について意見交換しました。

【参加者からの感想】

- 貴重な体験をされた方の話を、直接聴くことができるというのは、本当にありがたいことだと思う。授業後の生徒は、今ある小さなことも当たり前だと思うのではなく、感謝し、大切にできる気持ちが育ったのではないと思った。
- 黒田さんの授業では、生きることの大切さ、すばらしさ等が生徒によく伝わっていた。また、命の大切さと同時に、言葉の大切さにも触れられ、すばらしい授業だった。
- 八木中学校の生徒の聴く態度がすばしかった。戦争体験者の思いを一生懸命受け止めているように感じた。授業のはじめに、黒田毅先生から聴く視点を押さえられていたのもよかった。黒田さんの人間味あふれる語り口調もよかった。今日の授業は自校職員にも伝えたい。
- 生徒のお礼の合唱に感動した。子どもたちも受け取るだけでなく、伝えたり与えられたりして、自己肯定感を高めるよい試みだと思った。
- 八木中学校の人権教育の取組が計画的かつ継続的に進められていることがよく分かった。また、生徒に何を考えさせ、何を学ばせるか等の視点を持って進めてこられた実践から、多くのことを学んだ。
- 八木中学校の取組を参考に、これまで取組の反省と計画を自校ですっかりやっていかなければと思った。交流協議で、支援学校や小学校の先生方とも交流でき、他校種との連携の大切さを感じた。